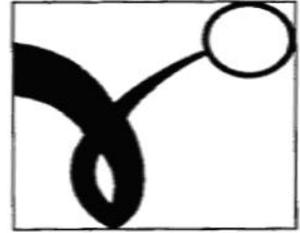


# 卓球 ニュース 市町村

ホームページはこちら (tttm.jp)

平成30年1月27日



発行者 東京都市町村卓球連盟 総務部

## 新年のご挨拶

東京都市町村卓球連盟

会長 吉田 武



会員の皆様 新年おめでとございます。

昨年は役員、会員の皆様のご支援ご協力をいただき、予定しました事業を滞りなく実施することができました。それに加えて東京都市町村卓球連盟の創立六十周年の年に当たり、実行委員会を設置して杉江委員長、佐溝記念誌担当委員を中心とする実行委員の皆様にご協力いただき、記念誌作成と記念式典の準備にあたりいただきました。六十周年という小さな節目です。十年間の記録をしっかりと残すこと、今後に向けて取り組むべき課題の検討と組織の強化に向けた記念式典、懇親会を企画してもらいました。今年の新年会でその成果が披露されることになっています。たくさんのご意見が伺え

ることを楽しみにしています。

さて、一昨年のリオデジャネイロ五輪での日本選手の活躍に続いて、昨年の世界卓球での平野美宇選手、張本智和選手をはじめとする日本選手の素晴らしい活躍で卓球が大きく注目を集めていることは大きな喜びであります（福原愛ちゃんに女の子誕生も）。そして身近なところでは今年のもみぢ大会で男子は西東京市、女子は調布市が優勝というアベック勝利を飾ったことも嬉しいニュースでした。両市の健闘に拍手を送るとともに、市町村卓球連盟としてもさらに研鑽を重ねていければと思っております。

とてもまともが良いと言われていた市町村卓球連盟が今年も仲良く卓球の普及発展に活動できますよう役員一同頑張りますので今年もよろしくお願いいたします。



東京都市町村卓球連盟  
登録状況（昨年比）  
平成二十九年十二月現在

男子 百八チーム（三減）  
九百三十一名（三十減）

女子 百二十一チーム（四減）  
七百九十六名（三十九減）

第五十回 東京都市町村  
総合体育大会 卓球競技結果

平成二十九年七月二十三日  
於 あきる野市 秋川体育館

- |    |    |      |
|----|----|------|
| 男子 | 一位 | 稲城市  |
|    | 二位 | 調布市  |
|    | 三位 | 西東京市 |
|    | 三位 | 立川市  |
| 女子 | 一位 | 調布市  |
|    | 二位 | 八王子市 |
|    | 三位 | 府中市  |
|    | 三位 | 日野市  |

## 新たなスタート

元当連盟常任理事、前東大和市卓球連盟会長、現東大和市体育協会会長 芳賀 文治

東京都市町村卓球連盟創立六十周年記念おめでとうとございます。初めに半世紀を過ぎこれまで連盟発展のためにご尽力されてこられた役員・理事の方々へ心より感謝申し上げます。とりわけ各市町村連盟を多摩地域全体の連盟として統括して都下卓球連盟として発足に至るまでご苦労をされた第3代会長 渡辺繁治氏へ敬意と感謝を表します。特に昭和四十年四月より今日に至るまで六十年余にわたって事務局を担当してくださった副会長 青木史義氏のご苦労に対し衷心より感謝を申し上げ敬意を表します。

一 各市町村卓球連盟の発展・充実期  
昭和五十八年頃より平成十三年頃までの期間、市町村卓球連盟は次世代を見通した組織的活動をしてきた発展期と考えられます。とりわけ二十六市五町一村の卓球連盟を統合し、市町村卓球連盟として活動を発足したことです。加えて東京都卓球連盟に役員を派遣し連携強化を図り、東卓の一翼を担うことになったことです。また新たな事業を計画実施してきたこと

です。例えば、公認審判員資格取得講習会、卓球人フェスティバル、市町村選抜卓球大会、ふれあいパーク、日中友好卓球大会、都下卓球ニュース第1号発行、レディース大会、ラージボール卓球大会、ダブルス大会等全て現在に至り充実にまいりました。

また、顧問の荻村伊知朗氏が国際卓球連盟会長に就任されました(昭六十二)。第二十七回世界卓球選手権大会には、井上武弘(青卓会)、織部幸治(青卓会)、荻野博之(立川市)が出場、アトラクタ、アテネオリンピック大会に、遊澤 亮(立川市)、アテネパリンピック大会に、富岡成一(調布市)、アテネオリンピックで卓球の男子準決勝の主審判をされた平池征子(小金井市)氏等日本を代表する方々がおられることは多摩地域の誇りであります。

二 中学校体育卓球部及び多摩地区教職員卓球連盟への後援

私は、昭和四十二年四月東京都区内より多摩地区に転動をしましたが、当時多摩地域の中学校体育連盟の卓球部には組織がありませんでした。昭和四十三年に多摩地区のとりまとめ役を仰せつかり、中体連卓球部及び多摩地区教職員卓球連盟の創設等を発足し組織的活動を始めました。当時、都下卓球連盟より多大な支

援・後援をしていただき重ねて感謝いたします。お陰様で中体連卓球部及び教職員卓球連盟ともに活性化・発展をして現在に至っています。とりわけ昭和五十年代、東京都代表で全国中学生大会、関東中学生大会へ多摩地域より多数の出場校を輩出して優勝入賞したことは特筆するところです。

関東大会優勝(武蔵野四中(昭五十二・女子)、瑞穂二中(昭五十六・男子)、単・若林八十二(昭五十二・立川一中)、単・広川理恵(昭五十三・小平二中)、単・湯澤亮(平二・立川三中)、単・長尾健太郎・八王子七中) 全国大会入賞、小平二中(女子)、羽村二中(男子)、単第二位・若林八十二(昭五十二・立川一中)、単第三位・荻野博之(昭五十二・立川一中)、単・優勝 渋谷浩(昭五十五・五十六・五十七、武蔵野三中)、単優勝・湯澤亮(平三・立川三中)

以上の中学生の入賞者のうち、その後日本代表で世界卓球選手権大会やアジア大会、オリンピック大会等に出場した選手は、荻野博之、広川理恵、渋谷浩、湯澤亮です。

三 ラージボール卓球の普及・拡大

軟式卓球が衰微の一途をたどり昭和六十一年頃卓球はねぐらでダサイなスポーツと言われて、当時、日本卓球協会の専務理事であった荻村伊

知朗氏を中心として開発された新卓球、昭和六十三年に第一回全国マスターズ卓球大会(ラージボール卓球)が富山県で開催されました。多摩地域では殆ど行われておりませんでした。平成十二年、多摩地域のラージボール卓球の普及拡大を期して第一回マスターズラージボール卓球大会を開催しました。前後期に年二回の大会で後期はオープン大会で今日では関東一円から多くの卓球愛好者が参加するまでに発展しました。全国大会で、女子シングルス15連覇を果たしている 平田洋子選手(武蔵野市)は、多摩地域の誇りであります。

四 今後の課題

日本の卓球人口も年々増えて、事業も増えて各大会の参加者も多くなりました。それだけに運営の役員も多くなり必要になってきています。また、これまでの役員の高齢化が目立ち、若返りが急務かと思われれます。各市町村でも同様かと思われれますが大会運営や審判等実務的な講習会や研修を開催して、若い人たちの育成と活動の場を設定していくことが重要と思われれます。設創立記念に当り、これまでを振り返り、改善工夫を加えて新たなスタートと捉え誰でも、いつでも、どこでもできる環境整備をし、卓球を盛んにしていきたいと考えています

# ベテラン大会

東野 範子

平成二十九年四月二十二日(土)、立川泉体育館に於いて第四十三回市町村ベテラン大会が開かれました。この大会は例年八丈島からも大勢の選手が参加され、島の名産の明日葉などをお土産に持参して下さる楽しみな大会となっています。その上今回は初めての試みとして近年パラリンピックなどで注目されているパラ選手をお迎えしての大会となりました。最初はパラの部を設けるという予定でしたが、当日のパラ選手の試合が重なり参加者が少なく、また、パラ選手側からの強いご要望もあって、一般の方と一緒に試合をしていただくことにな



りました。当日参加されたパラ選手は車椅子五名、立位七名の方達でした。試合参加者は男子百五十一名、女子百十五名の計二百六十六名、八丈島からは八名参加していただきました。車椅子の場合はサーブに特別のルール

があり、対戦した選手も少し戸惑い気味でしたが、和やかな雰囲気の中、真剣なプレーが繰り広げられました。また、車椅子選手にはボールパーソン(ボールを拾う人)が必要なこととか、駐車場は横に車椅子で降りるスペースが必要なことなど、開催して初めて分かった反省点もありました。来年も以降も続けていけたらと願っています。

## 全日本マスターズ優勝

安藤 節子

平成二十八年十月二十一日～二十三日、全日本卓球選手権大会「マスターズ」が函館アリーナで開催されました。ローエイティの部では全国から百十名が参加され、各ブロックから一名が決勝トーナメントに勝ち上がりました。私はキャリアのある方々との試合に苦戦しながらも勝ち進み運よく優勝できました。

これまでマスターズに挑戦し続けてきてここの一番となると心技体の欠落で失敗続きでした。いつの間にか八十歳となり振り返れば五十一歳のと

き東京選手権で優勝し感動した記憶を思い出します。これからと思つた矢先の翌年「ガン」で入院となり十年間卓球を中断、再起したものの練習中左手骨折、白内障手術、試合中左足アキレス腱断裂と試練の年月が続きました。それでも卓球に対する生き甲斐や練習することの喜びが一步一步前に進めてきたと思います。

知らず知らず晩年を迎え挑戦し続けてきて、実力的にはるかに上位の方が多く中で、数少ないチャンスを活かし今回のラッキーな優勝につながったことは私へのご褒美と受け止めています。私の練習に快く相手して下さった皆様に心からありがとうございますとお礼を言いたいです。感謝！これからも前進していきたいと思



## 審判部の主な活動

審判部部長 山本 道雄

審判部は佐藤副理事長のもと部長、副部長以下兼任一名含む七名で構成されています。

主な活動は、東京都市町村卓球連盟主催試合への審判長及び公認審判員の派遣と、頻りに改訂される日本卓球ルールを周知・徹底すること、各連盟へ出張してルール・審判法等の審判講習会と、審判資格を持つている方対象に審判実技養成講習会と、公認審判員・上級公認審判員・公認レフェリー取得の為の勉強会の実施等が主な活動です。

また、大会運営にもルールは欠かせないものです。選手一人ひとりも正しいルールを理解し楽しい試合ができるように、東京都市町村卓球連盟審判部では、一人でも多くの方が公認審判員の資格を取得してもらえるようお手伝いしていきます。



## 連盟等紹介

### 国分寺市卓球連盟

会長 佐溝 昌彦



国分寺市卓球連盟は、今年で創立五十周年を迎えました。連盟を支えてくださる皆様に感謝申し上げます。

当連盟は、チーム登録八、個人登録二十名、総勢百九十五(男子百五十九、女子三十六)名で、六月の団体戦、一月の個人戦、十一月に女子三W大会、九月の市民大会、十二月に連盟内大会を開催しています。さらに、毎月第一土曜日に連盟練習会およびジュニア教室、第三水曜日にレディース・シニア教室、四月に技術講習会を開催しています。

特にジュニア教室は、近年国立卓連との連携開催で行っており、多くの子供たちが参加してくれました。また、レディース・シニア教室は愛好者の増加に貢献できています。今後も卓球の普及に努めていきたいと思っております。

### 狛江市卓球連盟

会長 井上 城治



創立千九百六十四年(昭和三十九年)会員数二百九十七名(男子百四十七名、女子百五十名、十七団体、二十八チーム)練習は各団体毎に、市民体育館と地域センター(二カ所)で週に二〜三回行っています。

当卓球連盟のモットーは、市民の体力向上と卓球の普及とされています。この一環として、市民大会、団体戦、オープン大会を年に各一回開催すると共に、初心者・初級者向けのお楽しみダブルス大会を年に二回行って好評を博しています。

### 立川市卓球連盟

経廣 敬止



当連盟は登録チーム数五十二団体(男子三十女子二十)会員数四百八十七名です。現在十九名の理事で運営しております。連盟としての行事は関東学生卓球連盟と連携した「立川オープン卓球選手権」、中学生以下の「立川オープンジュニア選手権」、「立川オープンベテラン選手権」、「立川レディースダブルス大会」そして中学生の部ダブルスと個人戦(小学生から六十歳以上まで)、地区対抗の部、市民大会の各大会と底辺拡大のためスポーツリクレーション大会、初心者向け卓球講習会、毎週のワンポイント指導、また今年より期間限定のアスリート講習会を始めております。

卓球が注目を集めだした昨今、この機会に底辺の拡大、経験者の掘り起こし、競技志向の方の手助けを目指し務める所存です。

### 多摩市卓球連盟

会長 木村 喬



多摩市卓球連盟は今年で約四十五年になります。会員登録数は約三百名で、当連盟の主な活動は、リーグ戦、ジュニア教室、市民大会、オープン大会、講習会などに年に十数回ほど実施しております。中でも「多摩市卓球選手権大会(オープン大会)」については四十年以上も続いており、最近では八百人前後の参加者をお迎えして盛大に開催しています。

今年度は「大人の大会」と「子供の日」で実施する予定です。また、本連盟の講習会等に御招きした故長谷川信彦氏をはじめ、多くの著名人が本連盟を訪れてくださり、技術面や組織のあり方までご教示くださったお陰で、多摩市卓球連盟の今日があるものとても感謝しております。



## 新規登録チーム紹介

### ステップイン

中協愛純

私ステップイン女子チームは一般・大学生・高校生・中学生からなる年代も経験も異なる混成チームです。卓球は工夫次第で楽しみの幅が広がるステキなスポーツだと思います。

私たちはミニケーシヨンスポーツとして充実した毎日をおくるために練習をし、試合にも参加していきます。ホームは清瀬の卓球場ステップインで、昨年十一月には平野早矢香さん、今年九月には福岡春菜さんの講習会などを開くという刺激の多い卓球場で楽しんでいます。交流試合や練習会



もしたいと思えますので、ぜひお声がけ下さい。よろしく願います。

### わかば卓球クラブD

伊藤 美和子

今年度から新規登録するわかばDです。チームが所属している「わかば卓球クラブ」は再来年で結成四十五周年を迎えます。すでに市町村卓球連盟には、わかばA、BそしてCの三チームが登録しています。

週に二回クラブの全体練習があり、和気あいあいの中にも懸命に汗を流しています。また、月一回実施している「わかばの集い」には他のクラブやチームからも選手が参加してくださいっており、多くの皆様と卓球の楽しさを



を分かち合っています。四十五周年に向けクラブ一同頑張りますのでどうぞよろしく願います。

### 武蔵野ファースト

梶河 睦子

武蔵野ファーストは、今年度1チーム追加して登録しました。武蔵野市立第一小学校をホームグラウンドにして練習を積み重ねてきました。年齢も下は40代から上げそれなりに幅広く、武蔵野市内を中心に活動しています。市外での活動はこれからのチームです。ラバーもいろいろ変化に富み戦型もそれぞれ違いますが、練習も充実してきました。チームワークと一つでも昇格を目標にしています。どうぞよろしく願います。



### 東やまとクラブ

伊藤 孝二

東やまとクラブは東大和市在住が六人、市外が一人のチームで、今年、市町村リーグ参加のために作ったチームです。残念ながら、まだ全員が集まって練習できていません。

メンバーの多くは日曜日に東大和市卓球連盟が主催している小学校の日曜解放に参加し練習しています。

写真は今年の市民大会で市内のメンバー六人が揃ったので、その時に撮影しました。なかなか、仕事や家庭が忙しい世代の集まりですので、棄権しないよう、メンバーも募集中です！よろしく願います。



# 事務局

だより



東京都町村卓球連盟

事務局 青木 史義

## 事業日程

### H 29 年度 (大会事業)

- 1/20(土) 第 59 回東京都町村新人卓球大会〔男女ジュニア、一般男女〕 (武蔵野市総合体育館)
- 2/3(土) 第 19 回東京都町村ラージボール卓球交流会 (立川市柴崎体育館)
- 2/12(祭日) 第 56 回東京都町村卓球チーム優勝大会 (立川市泉市民体育館)
- 2/18(日) 第 59 回東京都町村新人卓球大会〔男女カゲット、ホプス、カブ〕 (羽村市 SC)
- 2/18(日) 下期リーグ戦最終戦 (男子 4, 5, 6 部) (稲城市総合体育館)
- 3/10(土) 第 58 回東京都町村卓球選手権大会 (Jr) (立川市泉市民体育館)
- 4/7(土) 第 44 回東京都町村ベテラン卓球大会 (立川市柴崎体育館)

### H 29 年度 (その他事業)

- 1/27(土) 平成 29 年東京都町村卓球連盟創立 60 周年記念式典 (立川グランドホテル)

“明けましておめでと〜ございませう。本年も宜しくお願ひ申し上げます。”

十年前、市が植えた街路樹が「花水木」春夏の風情はいいのだが、晩秋が大変、赤黒いカサカサの葉っぱがみんな落ちてしまう。卓球界宣伝のため卓球連盟のジャージを着て阿隣三軒分を掃くのだが、“誰も見ていない”自己満足なのか？一年に一回の原稿がまた遅れ、担当の奥多摩 S 理事に申し訳なく落ち葉とともに頭を下げております。

当連盟も今年一月に創立六十周年記念式典を迎える。八丈島が五十年、日卓協が八十年、東卓と立川が七十年、山梨県卓は九十周年とのこと。当連盟会長がいるいと式典に出席しているが、どちらにも役員の高齢化で悩んでいるとのこと解る、解るんです。

二〇二〇オリンピックのおかげで東京体育館が二年間使えない、全日本選手権も大阪で開催。東京選手権も会場を分割開催、まあ一終わるまで出来るだけ協力しよう。

八丈島五十周年大会で、祝辞に行つたはずの吉田会長が試合に出て混合 D (地元中学生とペア) とシニア男子で優勝！一緒に参加した私・コメントを控えます。◎戊戌の一年、キャンキャンと働きますので宜しくお願ひ

申し上げます。ワン！！

## 中体連多摩地区研修大会によせて (人を感動させる人間になってほしい)

日本中体連部長 徳永 紀夫

私の学校で先日合唱コンクールがあり生徒たちの演奏に深く感動しました。なんてすばらしいこと。

どうして人は感動するのでしょうか。それは自分が感動していることが他の人に伝わり、その人の魂を揺り動かすからではないでしょうか。魂の琴線にふれるという音楽があります、まさにこのことだと思えます。

公式戦のあと先生方で反省会をします。そのとき必ず話題になるのが「感動を与えてくれた選手のことです。大勢の先生から、〇〇中の〇〇選手は実にすばらしい」と

試合に対するひたむきな態度、懸命にボールを追う姿、気合いが入ったゲーム、試合が終わって戦ってくれた選手とありがたうの握手。見ていて感動が伝わってくる選手。そんな選手が少なからず必ずいます。そんな時顧問の先生は「ひそかに感動しているのです」。先生が静かに言葉少なく「よし」と言った時、先生は嬉しさを一杯なのです。こういうことを選手の皆さんは気づかないことが多いでしょうね。

逆の場合もあります。強くても相手をなめてかかったような態度、勝つて当たり前というようなしぐさで試合後のありがたうの挨拶、握手もロクにできない選手。見ていて本当にイヤなものです。弱い選手と対戦したときにその選手の人間性が表れるような気がします。

一本、一本丁寧にサーブを出す選手、真剣にプレーする選手は周りにさわやかな感動を与えます。なおかつ強い選手は憧れの的となり尊敬されるのです。

人は感動する度にその感動が魂を揺り動かす、記録されて次第に大きな喜び(感動)が得られる人間に成長するのです。歴史に残る私達の偉大な先達は今もなお私達に大きな感動と勇氣を与えてくれます。

試合は勝つことのみがエライのはありません。負けても素晴らしい感動を与えてくれる選手たくさんいます。負けることは決して恥ずかしいことではないのです。人に感動を与えることのできる選手が一番立派なのです。

誌 行 町 村  
報 市 町 村  
発 都 市 町 村  
京 都 卓 球 連 盟  
東 京 卓 球 連 盟  
編 集 人 子 苗 勝 夫 勇 彦 之  
東 野 野 早 間 紀 昌 俊  
清 野 久 永 多 溝 下  
佐 徳 阿 佐 山